

館林インターハイまで、あと174日!

闘虎

No. 6 1 Wrestling

群馬県レスリング協会広報紙
令和2年 冬季号



石井亜海が全日本史上最年少V!

天皇杯全日本レスリング選手権大会

12月20~23日、駒沢オリンピック記念公園体育館において、「天皇杯全日本レスリング選手権大会」が行われた。今年度、全国2冠、アジアカデット優勝の実績がある、石井亜海（OSA-安部学院高2年）は、女子62kg級に出場。初戦で日本文理大の選手をTフォールで破ると、準々決勝で警視庁の選手を5-4、準決勝で九州共立大のインカレ王者を4-3と接戦を際どく勝ち切り、決勝でも、早稲田大の選手を4-2で破り、高校2年ながら、堂々、全日本チャンピオンに輝いた。石井の「17歳10日」での優勝は、女子レスリング史上最年少の優勝となり、日本レスリング史にその名を刻んだ。

また、男子では富塚拓也（育英大学）がG72kg級で第2位、緒方竜成（自由ヶ丘高教員）がG87kg級で第3位入賞を果たした。

◆発行/群馬県レスリング協会会長 柳川益美 ◆編集/群馬県レスリング協会広報委員会

クラブ探訪

レスラーファクトリーを訪ねて

第61回

PALAI STRA



喜びを共感できる友達！
感謝してレスリングを！

高崎佐野中 2年 黒鳥 高斗

ぼくたちパレイストラは、毎週月曜日と水曜日と土曜日に、育英大学で練習しています。このチームは、県内のさまざまな場所から、たくさんの子どもが集まっています。個性豊かな仲間がいます。代表の柳川先生をはじめ、たくさんさんのコーチが時に優しく、時に厳しく、個々に合わせた指導をしてくれます。

水曜日の練習では、スーパーキッズで、ほかのクラブからもたくさんの方が来て、お互いに高め合う、とてもいい練習をしています。

ぼくは、十年以上レスリングをやっている中で、自分で努力して、強くなっていく喜びや、同じ競技をやっている、喜びを共感できる友達ができるなど、レスリングをやっている、よかったと思えることがあります。

パレイストラは、そんなスポーツをやる上での楽しみを、大きく味わえるクラブだと思います。この環境に感謝して、レスリングを続けたいです。

■練習日時 毎週月・水曜日(午後6時~8時)・土曜日(午前9時30分~正午)
■練習会場 育英大学レスリング場

SCHEDULE

■少年少女おおまま大会
3月15日(日)
みどり市総合社会体育館

■全国高校選抜大会
3月27日(金)~29日(日)
新潟市体育館

■JOC杯ジュニア
クイーンズカップ
4月11日(土)・12日(日)
駒沢公園体育館

■JOC
4月25日(土)・26日(日)
横浜文化体育館

■群馬県高校総体
5月8日(金)~10日(日)
館林市民体育館



小林 紀一さん(千代田町・51歳)

レスラーの思い出

□この写真は、私が館林高校3年の夏、群馬県チームでカナダ遠征へ行ったときの一枚です。一番手前で、カナダ国旗を背にしているのが私です。この遠征は、岡山インターハイと時期が重なり、インターハイへ出場できなかった選手団でしたので、3年間、共に汗を流してきた仲間の試合を観たかったし、結果的に、館高は団体戦第3位にもなっていましたので、その喜びを共有できなかったのは残念でしたが、カナダ遠征中は十分満喫でき、このときばかりは、「レスリングをやっているとばかりは、な」と思いました。思えば高校入学以来、苦しい練習の日々で、特に私は、高田裕司先生にはスパarringsで大変「お世話」になり、一日も早く、この毎日から抜け出すことばかり考えていましたが、このカナダ遠征は、高田先生からのご褒美だったのだと、今では感謝しています。

HEROINE'S IN GUNMA



石井 亜海 選手 (安部学院高校2年)

この日のために、自分のすべてをかけて練習してきました。全日本選手権では、自分が優勝すべきだと思っていましたが、実際、優勝できて、とてもうれしいです。自分がしてきたことは無駄ではなかったと思い、また、応援してくれた周りの人たちに、感謝の気持ちでいっぱいです。これからの目標は、インターハイ、そして最終的には、パリオリンピック出場です。

**地元・上村朋也優勝！
女子は横尾と山田V！
千代田近接大会**
12月2日、千代田町総合体育館において「第25回千代田町近接少年少女レスリング大会」が行われた。関東中の強豪クラブが集まることでレベルの高い同大会において、6選手が優勝した。県内選手優勝者は、次のとおり。
【中学男子】◇62kg級 上村朋也(千代田) ◇75kg級 小林靖弥(館林)
【中学女子】◇52kg級 横尾瑠衣(明和)
【小学5〜6年男子】◇47kg級 黒鳥勇斗(PALAISTRALIA)
【小学3〜4年女子】◇34kg級 山田りん(伊勢崎)

石井亜海忘れ物獲る！ 国際大会2度目の金！ クリッパン国際大会

1月18〜19日、スウェーデン・クリッパンにおいて「クリッパン女子国際」が行われた。石井亜海が、12月に全日本チャンピオンになって、まもなく出場した同大会は、石井にとって、3度目の代表に選出、カデットで一度、銀メダルを獲得しており、当然、優勝するべく臨んだ今大会は、5者リーグで、初戦、日本選手に8―3で発進すると、続くドイツ、スウェーデンの2選手には、フォー

【小学1〜2年】◇34kg級 構琉之介(O.S.A.)

**元世界銀・清水V5！
山本知史2年連続V！
全日本マスターズ**
1月19日、国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて「第19回全日本マスターズレスリング選手権大会」が行われた。
県内選手優勝者は、次のとおり。
【41〜45歳】◇88kg級 山本知史(群馬県警)

【シニア・ジュニア】◇65kg級 ①石井亜海(安部学院) ①



アジアカデットに続き国際大会2度目の金

ぐんま女子選手奮戦！ 4選手銅メダル獲得！ 全国少年少女選抜大会

2月23日、板橋区・小豆沢体育館において「第24回全国少年少女選抜レスリング選手権大会」が行われた。この大会は、昨年7月の全少において、ベスト8以上の選手により競い合う大会で、群馬からは9選手が出場。女子選手が奮戦の末、4選手が第3位入賞を果たした。

【女子46歳以上】◇58kg級 清水真理子(富実高教)



準決勝で戦う澤井舞綾(O.S.A.)

【女子5年】◇33kg級 ③青木優香(PALAISTRALIA) ◇48kg級 ③梅澤野乃花(PALAISTRALIA) ③澤井舞綾(O.S.A.)
【女子4年】◇28kg級 ③本間あみ(邑楽)

中里優斗(市太田)が関東選抜制す！

関東高校選抜大会

2月1〜2日、リリアアリーナM-ITOにおいて「関東高校選抜レスリング大会」が行われた。茨城国体(少年フリー100kg級)で準優勝を果たし、自信と実力を身に付けた中里優斗(市太田2年)は、今大会では、優勝候補。準決勝での強敵を退け、決勝は霞ヶ浦高校の選手と対戦。序盤でリードされる苦しい戦いだったが、逆転し、見事に優勝を飾った。団体戦では、初戦で、優勝した日体柏に敗れた市太田高だが、全国選抜



重量級の中で最もアグレッシブな試合をする中里

個人戦では、中里と、第5位入賞した城所拓馬の活躍が期待される。また、今夏、インターハイの舞台となる館林からは、加藤敦史が一人気を吐き、第2位となった。全国選抜出場者と女子入賞者は、次のとおり。

- 【団体戦】⑤館林
- 【男子】◇51kg級 ②加藤敦史(館林) ◇55kg級 ⑤高橋一輝(館林) ◇60kg級 ⑤入山二稔(富実) ◇71kg級 ⑤坂上拓瑠(館林) ◇80kg級 ⑤城所拓馬(市太田) ⑤中島雅登(館林) ◇92kg級 ⑤岩井知史(前西) ◇105kg級 ①中里優斗(市太田) ⑤對比地旭陽(大泉)
- 【女子】◇47kg級 ②山田侑菜(館林商工) ◇57kg級 ③田代麻日(市太田) ◇68kg級 ②小林久美(西邑楽)

地元・和和三志郎V！ MVP山口想成獲得！ 館林市スポ少交流大会

1月26日、城沼総合体育館において「館林市スポーツ少年団レスリングクラブ交流大会」が行われた。優勝者の中で、特に顕著な試合内容だ

- 【小学5〜6年男子】◇34kg級 松林真誠(千代田) ◇51kg級 黒鳥勇斗(PALAISTRALIA)
- 【小学5〜6年女子】◇Division D 澤井舞綾(O.S.A.)
- 【小学3〜4年】◇24kg級 小森谷岳琉(大間々) ◇45kg級 和和三志郎(館林)
- 【小学1〜2年】◇28kg級 苅谷萌々香(O.S.A.) ◇32kg級 柴木文(上州)
- 【幼年】◇17kg級 一圓大尊(上州) ◇21kg級 小林桂士(PALAISTRALIA)



MVPを獲得した山口想成(明和クラブ)

なごJINGUNMAのレスクイーン



邑楽ジュニアレスリングクラブ 村田 悠夏さん(中1)

妹が先に始めていて、楽しそうだったので、私もレスリングを始めました。レスリングをやったよかったことは、体力がついたことと、友達がたくさんできたことです。全中の時、お泊りでチームの中学生と「本こわ」を見たことが楽しい思い出ですが、減量で体育館の周りをずっと走ったことは苦しい思い出として残っています。尊敬するレスラーは、清水せいな先輩、ライバルは宇野せいな選手です。部活は、バスケット部に入りましたが、全中優勝のために、部活はやめて、今はレスリング一本に絞っています。将来の夢は五輪ピック金メダルです！